お知らせ

3月の 徳得学級（高齢者向け）

３月１０日（月）

『転倒予防(体操)について』

神拝公民館　２階ホール１０時～１１時
講師：済生会病院　理学療法士
※申し込み不要でどなたでも参加頂けます。
　ぜひご来場ください。

次回のおげんきさん体操の予定

３月１３日（木）
９：３０～１０：３０ 神拝公民館展示室
※持ってくるもの…**水分補給用飲料**

※3月27日はおやすみです。

令和７年度 公民館利用の単発利用について

　令和７年度の単発利用申し込みは以下の通りです。
自治会・子ども会などの団体はご注意ください。

- **4月・5月分の受付**　3/１０（月）～
- その後は従来通り**3カ月前**の受付となります。
　（例：７月分まで：４/１（火）～）

※ 私的なこと、宗教に関すること、政治活動、営利目的など、利用できない活動がありますのでご注意ください。わからない時は、職員までお尋ねください。

令和７年３月 行事予定　＊は休館日です

日	曜	おもな予定
＊1	土	休館日
＊2	日	休館日
3	月	ふれあい広場抽選会　9:00～図書室
5	水	連合自治会役員会　19:00～会議室
7	金	神友会役員会 10:00～展示室
＊8	土	休館日 連合自治会長会　19:00～ホール 民生児童委員会 19:00～展示室
＊9	日	休館日
10	月	徳得学級　10:00～ホール 神友会定例会 11:00～ホール
13	木	おげんきさん体操　9:30～展示室
＊15	土	休館日
＊16	日	休館日
＊20	火	休館日（春分の日）
＊22	土	休館日
＊23	日	休館日
25	火	学校開放抽選会　19:00～創作室
＊29	土	休館日
＊30	日	休館日

４月の予定

4/1　ふれあい広場抽選会
4/7　神友会役員会
4/8　民生児童委員会
4/9　おげんきさん体操
4/10　神友会総会
4/16　連合自治会役員会
4/19　連合自治会総会
4/23　おげんきさん体操
4/24　シニアカフェ
4/25　学校開放抽選会
※予定ですので変更の可能性が有ります。

３月 神拝地区ごみカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4 もえるごみ	5	6 もえないごみ 乾電池	7 もえるごみ	8
9	10	11 もえるごみ	12	13 もえないごみ 乾電池	14 もえるごみ	15
16	17	18 もえるごみ	19 古紙	20 もえないごみ 乾電池	21 もえるごみ	22
23 30	24 31	25 もえるごみ	26 ガラスびん・ペットボトル・スプレー缶等	27 もえないごみ 乾電池	28 もえるごみ	29

～つなぐ～まなぶ～つどう～

神拝公民館だより

〒793-0042　西条市喜多川 351-1
TEL:53-6946　　FAX:53-9011
e メール:kanbai-k@saijo-city.jp

※QR コードから公民館だより一覧へ。３月号を選んで神拝公民館を開くとカラー版をご覧いただけます。

令和７年３月１日　神拝公民館発行
３月号

世帯数 6,828 戸(+16) 先月比
男　6,668 (+18)
女　6,917 人 (+20)
13,585 人 (+38)　１月 31 日現在

2/8 公民館 de あそぼう　ミニボッチャ大会開催！

　すっかり恒例となったミニボッチャ大会を、今回も神拝地区青少年健全育成協議会との共催で開催しました。
　何度も参加してかなりの腕前になった児童チームやファミリーチーム、気の合う同士のなかよしチーム、お年寄りと児童の混合チームなど多様性に富んだチームに加え、今回神拝公民館チームも参加し、全１２チームで熱戦を繰りひろげました。

モルックやってみた！

　今回はミニボッチャに加え、“モルック”（ Mölkky）もお試しで体験しました。
　モルックとはフィンランドの伝統的なゲームを基に開発されたスポーツで、世界大会も開催されています。このゲームは「モルック」という木の棒を投げ、「スキットル」と呼ばれる 12 本のピンを倒して点数を競うゲームです。本物のモルックは木製ですが、壁が傷つく恐れがあるのでウレタン製のものを使って行いました。まだみんな慣れていないので戸惑いながらも新しいゲームに目を輝かせながら楽しんでました。
　今後、モルックも恒例になるかも！！

⇨このように並べた「スキットル」に、3メートル離れたところから「モルック」を投げて倒します。

５０点ぴったりになると終了。３回連続でミスをすると失格になるので真剣に狙って投げています。

公民館のニュース

1/26・2/6　スマホ教室

　ドコモショップ西条店にご協力いただき１月２６日と２月６日の２回にわたりスマホ教室を開催いたしました。
　１回目は『スマホを安全に使うためのポイント』。
　パスワードの設定の仕方や、不審なメールへの対処方法、トラブルに巻き込まれそうになった時の相談先などについて学びました。
　２回目は『デジタルリテラシーを身につけて安心・安全にインターネットを楽しもう』。こう書くと難しく感じますが、ネットの特性を知って正しい情報を入手する方法や、ネットでトラブルに巻き込まれないためのポイントなどを学びました。最後に日頃から困っていることや疑問に思っていることについての相談などを受けてもらい、予定の一時間を大きく超えて学習されました。

1/23　シニアカフェ

　今回のシニアカフェは西条市地域包括支援センター北部との共催で実施しました。
　済生会西条病院の理学療法士 工藤氏に、『安心・安全な日常生活を送るために』という内容でお話しいただき、合間に体操なども交えて、みんなで体を動かしながら楽しい時間を過ごしました。その他、脳トレクイズも用意して頭と体の両方を鍛えることが出来ました。
　いつものように、婦人会の皆様にもおいしいコーヒー、紅茶とお菓子をご用意いただき有難うございました。

2/10　徳得学級

　今回の徳得学級は、『西条の人物伝』と題し、西条市教育委員会　社会教育課副課長　伊藤敏明に講演頂きました。
　今回取り上げられた人物は、以下の方々です。

・新名 直和
　１８７９年～１９３８年（神拝出身）
　西条郵便局から高松郵便局を経て大正９年東京中央電話局長となり、大正十一年の東京放送局設立時に放送協会専務理事に就任。その後、日本放送協会を設立した。大正十四年に始まった日本でのラジオ放送の第一声を発した人（諸説あり）といわれてます。

・真鍋 嘉一郎
１８７８年～１９４１年（大町出身）
　物理的療法やレントゲン学などの先駆者。旧制松山中学校・第一高等学校・東京大学医学部と全ての学校を主席で通し、大正五年物理的療法研究所主任となり、大正十五年東大教授に昇格、本邦初の物理的療法学講座を担当した。Ｘ線のことをレントゲン線と統一したのも彼である。

・高瀬 半哉
１８６８年～１９３７年（神拝出身）、
　小説坊ちゃんの”のだいこ”のモデルと言われ、愛媛県尋常中学校（後松山中学校）で夏目漱石らと教鞭を取り、のちに東予分校（現西条高校）の創立とともに図画、習字の教師として着任した。西條中学校となった時に校章を創案され、現在でも西条高校の校章として使用されている。
　西條中学では数学の金子元太郎とともに校宝的存在であった。

・佐伯 矩
１８７６年～１９５９年（氷見出身）
〝栄養博士〟と称せられて世界的に知られた理学博士で、日本の栄養学の祖と言われる。
　現在の岡山大学である第三高等中学校医学部を卒業した後、京都帝国大学医科大学で研究を続け、明治三十五年内務省伝染研究所に入り、北里柴三郎のもとで、消化酵素「ラファヌスジアスターゼ」を発見した。その後、エール大学で生理化学を学び、四十三年に帰国。健康の基礎は栄養であると大正四年に私立の栄養研究所を設立。九年に国立栄養研究所が開所し、初代所長に就任した。翌十年に栄養学会を創設。ビタミンの国際単位制定にも関わった。偏食や栄養食という言葉を作ったのも氏である。

　上記の方々に加え、昨年度の徳得学級でお話し頂いた十河信二氏と妻キク氏に関して、その後判明した新事実について追加でお話し頂きました。

　いずれの方々も明治時代の初期に生まれ、その後大活躍された方々ですが、西条市出身の偉人の方々の優れた業績に触れ、人々に繋いで行く事により郷土を愛する心が育って行くのだと締めくくられました。

1/18　令和６年度 人権学習講演会『人間の尊厳』に向き合う

共催：神拝地区人権教育をすすめる会

　今年度の人権学習講演会は『人間の尊厳に向き合う』というテーマで氷見交友会館の館長 曽我部研二にご講演いただきました。
　講演会は、近くの方と話し合う機会が作られ、意見を出し合い一緒に考えて行くというスタイルでした。
　講演の最初に、『今日話す内容は各自が人権について考えるきっかけに過ぎないので、今後どう活かすかは今後の皆さん次第です。』と話されました。そして、『“人権”という言葉を使うと難しくなるので“人間の尊厳”について話をしてゆく』との事で、ご自身の体験談の中からいろいろ考えさせられるお話を伺いました。

講演の中で取り上げられたお話

〇認知症になった義母を、愚痴一つ言わずに介護した友人の妻の話。
　　→実母でもないのに、なぜ愚痴も言わずに介護出来たのか・・・義母への尊厳

〇過去に担任した祖父母に育てられた児童の話
　　→祖父母への尊厳を持った少年の気持ち

〇同じく過去に出会ったある児童の話
　　→児童の尊厳を守るために対等であることが必要であった。

　人はみな対等である。人間関係のトラブル解決のためには対等な関係作りが大切で、対等な関係作りに「人間の尊厳」が必要である。そして対等であろうしたときに、相手の気持ちを理解しようとする気持ち、相手の言いたいことを聞くという事を大切にしたいと思うお話でした。

◇受講された方々のアンケートです。

●尊厳と題して今日は講演いただきましたが、人権では初めてのような気がします。今日は少年ゲン君に焦点を当て尊厳を守るためには「人はみんな対等である」わかりきった事であったと思ったが、今の自己中心の時代の中で忘れていたように思う。今日のお話を聞いて、初心に帰る事も大切。年齢問わず対等である事の大切さを忘れないようにしたい。

●人は皆対等。大人の言い分や考えを押し付けない。人間の尊厳を大切にする。（相手をきっちり大事に思うこと）なかなか対等になれないので、よく考えて行動したい。いいお話を聞けました。

●ただ聞くだけの講演でなく、たくさん考える講演で良かった。

●人間の尊厳、人は皆対等であるというテーマでお話を聞きました。人は一人では生きていけない。必ず相手がいて、いろいろ考えの違いがあったり、自分のやりたい事を制限されたりして腹が立つこともありますが、相手の立場、人生を思いやり、大切に尊ぶ思いで接する事が、自分の人権（尊厳）を守ることになるのだという事を感じました。人の話をよく聞き理解しようとする気持ちを忘れないようにしたいと思います

●人の権利＝人権と思っていたけれど、人権というのは人の尊厳。人と人が対等であることで、人が幸せで自由に生きていけるということを教わりました。子どもにも相手の尊厳、自分の尊厳を大切にしていこうということを、伝えたいと思います。